

同窓会会長 吉田 和郎（同盟福音大垣・1999.3 信徒奉仕者卒）

8月11日（月・祝）に同窓会総会を金山のクリスチャンセンターで開催することができました。昨年は、7月の海の日に開催しました。今年も当初は、海の日を予定していましたが、いろいろな予定が重なり、急遽、山の日に開催となりました。

昨年、久しぶりに役員改選ができ喜んで報告しましたが、今年も少ない人数ながら、主の恵みにより、開催することができました。感謝です。

7月の海の日には、金山クリスチャンセンターの1階で塾のリトリートが開催されました。講師は、末松隆太郎師でした。出エジプト21章からのメッセージで、ヘブル人の奴隷は、6年間で解放されるけれども、主人のもとを去りたくない奴隷は、耳にキリで穴をあけ、一生主人に仕えるという契約のしるしとした。メシア預言と呼ばれる詩篇40篇6節、「…あなたはわたしの耳をひらいてくださいました。」この個所の「耳を開く」は「突きとおす」と訳すこともできる、ということから、主の恵みと愛を語っていただきました。

同窓会では、毎年、神学塾に3万円を献金していますが、もし残高があれば、今年は例年の倍の献金を考えています。同窓会の年会費は、年2,000円です。皆様のご協力をお願いします。



同窓会の行事報告

昨年

- ・2024年7月に総会開催
役員改選・会計報告ほか
- ・「やっとかめ」2回発行

今年

- ・2025年8月に総会開催

同窓会 現在の役員（昨年改選・任期2年間）

会 長 : 吉田和郎（99 信徒・大垣）
事務局長： 関口廣志（18 信徒・名古屋猪子石）
会 計 : 牧野芳江（02 信徒・岩倉）
渉外広報： 竹原真理子（16 信徒・豊橋ホサナ）

事務局だより

同窓会会費（年2,000円）よろしく
（毎年、同窓会から東海聖書神学塾へ
献金しています。）

振込み先 〈郵貯銀行〉

名義 東海聖書神学塾同窓会

No. 12110-55510391

一般の銀行からは

店番：218 口座5551039

同窓会会計報告 24.4.1～25.3.31（円）

項 目	収入	支出
同窓会費（延べ13人分）	26,000	
寄付金	22,000	
利息	5	
繰越金	24,895	
献金(神学塾へ)		30,000
総会費		1,257
事務通信費（やっとかめ他）		5,258
合 計	72,900	36,515

《次年度繰越金 36,385円》



(同窓会長 吉田和郎)

アラカルト 1

今年も、ペンギン塾（後藤喜良師の味読クラス）に参加する恵みを受けています。

まだローマ書の学びが始まったばかりですが、その中で3章22節「イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。（新改訳 2017）」について考える機会が与えられました。

後藤師が牧会奉仕をしているとき、信者さんから「主イエスを信じる」ことを「救われるための条件」のように考え、「自分のような不信仰なものは救われないのでは？」とか「今は信じているけれども、将来は信じられなくなるかも」と心配する方が、かなりいたと言われました。

私たちの信仰は、私達が救われるための条件ではありません、と教えてくださいました。

実は共同訳では、3章22節を「神の義は、イエス・キリストの真実によって、信じる者すべてに現わされたのです。」と訳しています。新改訳 2017 も脚注に「別訳」「イエス・キリストの真実によって」と記載しています。

「どちらを正しい訳として受け入れますか？」という問いでした。

私自身の考えが正しいかわかりませんが、私自身も以前から、「信仰によって」というのは何か「信仰」という「おこない」が必要みたいな、勘違いを招きそうな言葉だなと感じていました。（ギリシア語ピステイスは、信頼、信仰、真実、誠実などの訳が可能なようです。）

「神の義」は、ある意味では、イエスが十字架と復活で完成しておられます。それを「アーメン」と受け取るだけでいいのだろーと思います。



アラカルト 2

また、人がみな食べたり飲んだりして、すべての労苦の中に幸せを見出すことも、神の賜物であることを。（伝道者 3 : 13）

私は、ギデオン協会という聖書を配布する団体のメンバーです。（あまりたいした活動をしていないので控えめに）

色々な教会に出向いて、ギデオン協会の報告や証をする機会があります。先日、岐阜県の揖斐川町にある揖斐キリスト教会に出席させてもらいました。

その日のメッセージは伝道者の書 6 章からでした。6 章は、色々な素晴らしいものを得ても「むなしい」とか「風を追うようなものだ」という部分が多く、聞いていても楽しいところはありませんでした。けれども冒頭の伝道者 3 章 13 節を聞いたとき、ふっと喜びが湧いてきました。

「労苦の中に幸せを見出すことも神の賜物」
そうか、やっぱりそうか、と思いました。

時々、お話していますように、私は農業法人の責任者です。毎日、本当にどうしようか？と思うことがいっぱいあります。

雨ばかりで小麦の刈り取りができないかも？逆に、猛暑続きで、ブロッコリーの苗が枯れそう。そんな苦労をしながらも、その時その時に、主の恵みを覚え、ハレルヤ！！と万歳することもあります。

「労苦の中に幸せを見出すことも神の賜物」
（ハレルヤ）

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。

（詩編 103 : 2）」

「喜びの声をもって、神に大声で叫べ。

（詩編 47 : 1 b）」

